

2006年2月13日

報道各位

住友金属鉱山株式会社
住友商事株式会社

ポゴ金鉱山開発プロジェクトの金生産開始について

住友金属鉱山株式会社（東京都港区 社長：福島 孝一）と住友商事株式会社（東京都中央区 社長：岡 素之）が、カナダのテック・コミンコ社（CEO：ドナルド・R・リンゼイ）と米国アラスカ州において共同で進めているポゴ金鉱山開発プロジェクトは、このたび建設工事が終了し、本日（現地時間 2月12日）から金の生産を開始いたしました。これは、建設工事が順調に進んだことにより当初予定の3月から約1ヶ月以上早まったものです。

このほど生産された最初の金は、坑内から採掘した金鉱石を坑外の鉱石処理施設において選鉱・精錬したドーレと呼ばれる中間製品です。生産されたドーレは全量を金精製会社に委託精製し、金地金としたうえで販売いたします。今後は生産設備の稼働率を徐々に引き上げていくことにより、数ヶ月後にはフル操業となる予定です。

ポゴ金鉱山開発プロジェクトにつきましては、本邦企業による初の大規模な海外金鉱山開発案件であり、1994年に金鉱床を発見して以来、坑道探鉱による鉱量の確認、環境等に係る主要許認可の取得、鉱山施設および坑道掘進等の建設工事を進めて参りました。その結果、約11年の歳月を経て金生産開始を迎えることができました。

住友金属鉱山にとって本プロジェクトは、主導権を握る初の海外鉱山開発プロジェクトという重要な位置付けにあります。また、住友商事にとって本プロジェクトは、最初の金鉱山開発プロジェクトへの投資案件になります。

（本件に関するお問い合わせ先）

住友金属鉱山株式会社

総務部広報室 高橋 雅史

TEL：03-3436-7701

FAX：03-3436-7997

住友商事株式会社

広報部 報道チーム 上田 昌彦

TEL：03-5166-3096

FAX：03-5166-6203

以上

参考資料

1. プロジェクトの概要

- 1) 位置：米国アラスカ州フェアバンクスの南東約 90 マイル
- 2) 埋蔵金量：152t (フィジビリティ・スタディによる)
- 3) 年間生産金量：約 12t / 年 (フル操業期間中の平均)
- 4) 開発投資額：約 357 百万ドル (うち、住友金属鉱山 51%、住友商事 9% 負担)
- 5) 現地における鉱石処理：採掘後、選鉱 青化浸出 電解採取を経てドーレ (金品位約 94%、銀品位約 6%) として回収
- 6) マインライフ：10 年 (今後の周辺探査により寿命が延びる可能性あり)
- 7) 権益比率：住友金属鉱山アメリカ社 (住友金属鉱山 100% 子会社) 51%
テック・コミンコ社 40%
S C ミネラルズアメリカ社 (住友商事 100% 子会社) 9%

8) テック・コミンコ社の概要

設立：2001 年 7 月 (Teck 社と Cominco 社が合併)

資本金：1,810 百万カナダドル

CEO：ドナルド・R・リンゼイ

本社所在地：カナダ バンクーバー

事業内容：北米および南米で、銅・亜鉛・金の鉱山、精錬所および石炭鉱山を営

2. 位置図



3. 写真

- 1) 坑口と鉱石処理施設など（写真右のコンベアの先端に坑口があり、左の施設がミルと呼ばれる鉱石処理施設。コンベア上の施設は宿舎および事務所など。2005年9月撮影。）



2) 鉱石搬送



3) ファースト・ドロー

